

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年4月19日

【評価実施概要】

事業所番号	270101751		
法人名	有限会社コスモス		
事業所名	グループホームコスモス苑		
所在地 (電話番号)	〒030-0145 青森県青森市金浜字稲田111番1 (電話) 017-729-8946		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 21年 3月 19日	評価確定日	平成 21年 4月 19日

【情報提供票より】(平成21年2月28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 11月 22日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	15人, 非常勤 1人, 常勤換算 13人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	2 階建ての	1 階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	21,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 300 円
	夕食	450 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(2月28日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	2 名	要介護2	9 名		
要介護3	3 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.1 歳	最低	63 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	青森協立病院、奥野ミナトヤ歯科医院、佐藤内科クリニック
---------	-----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは住宅と田畑の中に位置しており、とても静かで落ち着いた環境にある。市街地にも近く車で数分の所にデパートなどの商店街があり、気軽に買い物に出かけることができる。地域との交流も活発であり、ねぶたの来園や三味線演奏、手踊りなどのホーム内行事も多く、入居者の楽しみに繋がっている。
災害時の協力体制や、無断外出時の見守り支援なども地域の協力が得られており、安心して生活できる環境作りに向けて取り組んでいる。今後は地区の交番との連携を深め、見守り体制の強化をしていく予定があり、前向きな姿勢にて取り組んでいる。職員の入居者に対する対応も穏やかであり、時間の流れもゆったりと自然に流れているように感じられるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	金銭管理における手順・取り決めが決められており、より確実な管理がなされている。身体拘束や災害対策、感染症予防など、マニュアルの見直しや変更、法に合わせた記録方法等、検討の上に整備されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は職員全員で取り組まれており、日々の業務の振り返りの機会に繋がっている。また、管理者は、職員の評価をまとめると共に、ホームの現状を把握し、話し合いの機会を設けて改善に向けて取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2ヶ月に1回開催されており、参加者からの意見も積極的に出され、双方向な話し合いが行われている。今後は地域の交番にも参加を依頼するなど計画されている。不参加者には会議資料を提出し、状況を伝えて意見を聴取するなど取り組まれている。会議で得た意見には、職員で話し合いが持たれ、業務にできるだけ反映できるように活かされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	面会時には進んで様子を伝えるなど、家族への報告は十分行われている。広報誌も定期的に送付されている。金銭の管理については、出納帳を作成し、毎月帳票と領収書を確認していただき、サインを頂いている。運営推進会議及び面会時に出された意見や要望には、管理者を含めて話し合いが行われており、業務に取り入れる努力が見られている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームの広報誌を積極的に配布し、ホームの状況を地域に伝えていく取り組みが行われている。地域行事(市民センター祭り等)への参加、ねぶた祭りにはホームの前まで来てくれたりと、交流が見られている。地区の中学校、小学校や幼稚園の交流・行事参加、婦人部との交流機会も計画されており積極的に取り組まれている。キャラバンメイトへの参加意欲もあり、今後の取り組みが期待される。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「目配り、気配り、思いやり」という理念を掲げ、ホームだけではなく地域全体を視野に入れ、ホームの広報・啓発に努めるなど、地域に向けた日々の取り組みが見られている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者及び職員はホームの理念を念頭におき、声がけや利用者への対応など、日々の業務において実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	ホームの広報誌を積極的に配布し、ホームの状況を地域に伝えていく取り組みが行われている。地域行事(市民センター祭り等)への参加、ねぶた祭りにはホームまで来てくれたりと、交流している。地区の中学校、小学校や幼稚園の交流・行事参加、婦人部との交流機会も計画されており積極的に取り組まれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価は職員全員で取り組まれており、日々の業務の振り返りの機会に繋がっている。また、管理者は、職員の評価をまとめると共に、ホームの現状を把握し、話し合いの機会を設けて改善に向けて取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回開催されており、参加者からの意見も積極的に出され、双方向な話し合いが行われている。今後は地域の交番にも参加を依頼するなど取り組まれている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村担当者には、運営推進会議の資料を提出し、会議内容を伝えて意見を頂いたり、地域包括支援センターと日頃より積極的に意見交換を行う等、行政に実情を伝えて情報の共有とサービスの質の向上に繋がっている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>以前、成年後見制度を利用されている利用者がいたとのことであるが、職員は殆んど関与していなかったため制度に関する理解が薄い。権利擁護に関する資料の整備も無く、外部研修の参加もされていない。</p>		<p>権利擁護に関する資料の整備と勉強会の開催、外部研修の参加などを行い、制度の理解に努め、職員全員が制度について説明できる体制作りが望まれる。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待については勉強会や外部研修への参加も積極的であり、管理者・職員が一丸となって虐待防止に取り組む姿勢が見られている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書や契約書、個人情報使用同意書を用い、十分な説明が行われている。退去要件に関しても十分に説明が行われており、家族の理解が得られている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>現金に関しては、出納帳と領収書を家族に定期的に確認してもらい、サインを頂いている。その他、広報誌を配布し家族に日々の暮らしの様子を伝えている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の面会時には、職員から積極的に声を掛けて、意見や要望を引き出すように努力されている。意見には、管理者、職員で話し合いが行われ、解決・改善に向けて取り組んでいる。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者は職員の異動による弊害を十分理解されており、実際に職員の異動は行われていない。また、1ユニット、2ユニット合同の行事も行われており、職員はもとより入居者においても馴染みの関係が形成されるように、日々取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内においては勉強会が行われている。外部研修への参加は積極的に行われ、管理者は職員一人一人の経験等を考慮して参加を勧めているが、平均的な受講には至っていない。また、研修受講時の職務上の位置づけや費用負担が統一されていない。		特定の職員に偏らない研修の機会の提供や対応の統一を通じて全体のレベルアップに期待したい。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所の管理者との交流、また、栄養士との交流が行われ、ホームの状況を伝えたり、相談を受けたり持ちかけたりと協力関係の構築に努力されている。今後においては、他事業所との交換研修も計画が進められている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に相談や見学を受け入れている。利用前には家族から十分に生活歴や本人の嗜好、特技等の情報を引き出し、対応についての検討がなされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は寄り添う介護の実践を心がけ、会話の中から利用者の思いを汲み取り、より良い信頼関係の構築に努力されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時は勿論であるが、日々の生活の中でも利用者寄り添うことを心がけて、意見・要望を引き出せる様に取り組んでいる。また、傾聴ボランティアを取り入れており、その中からも意見や要望を引き出し反映させている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画には個々に合わせた生活行為も記載されており、計画の作成に当たっては職員全員が関わりを持って、話し合いも行われている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しが行われ、状態の変化に応じて随時見直し・変更も行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	定期通院等は、殆んどホームで対応している。家族の宿泊にも対応できる環境が整備されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族の希望に沿った医療機関を利用している。また、症状に応じて、家族と相談の上、各診療科への受診支援が適切に行われている。薬局薬剤師との連携もあり、服薬に関する指導も受けられるように取り組まれている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ターミナルには対応していないが、重度化した場合のホームの対応については十分説明が行われ、家族の納得も得られている。医療機関との連携により、利用者・家族の意向をその都度確認して話し合い、最善の対応を心がけ日々取り組んでいる。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員の採用時には、個人情報に関する誓約書を取っている。個人情報に関する書類においても、外部から見えないように事務室にて保管されている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員は運営理念である「目配り、気配り、思いやり」を常に念頭におき、利用者一人ひとりの状況に合わせた声掛けや対応が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の際には、介助の必要な利用者の側に付き添い、さりげない介助が行われている。後片付けをしている利用者の姿もみられ、出来る部分を活かした対応になっている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週に2回は確実に入浴が行われ、希望に応じていつでも入浴できる体制がとれている。時には温泉に出かけるなど、入浴を楽しんでもらえるように工夫されている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>日々の業務の中から、利用者のできる部分や得意分野を発掘し、個々に合わせた役割を持ってもらえるように勤めている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>定期的な外出行事のほか、天候により外気浴などが積極的に行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は身体拘束における弊害を理解し、身体拘束をしないという意識を持って日々業務にあたっている。やむを得ず身体拘束を行う場合においても、記録様式が作成されており、マニュアルも作成されている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠せず、センサーも取り付けられていないが、職員が利用者一人ひとりの状況を把握しており、外出の際には止めるのではなく、職員が付き添って見守ることで対応している。無断外出に備えて近隣にも協力を依頼されている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的な避難訓練が実施されており、地区の消防団も参加されている。運営推進会議においても消防団が参加されており、災害に対するの意見や避難訓練の対応などが話し合われている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士によるBMIの推移が記録されているが、献立においてカロリーの記載がなく、食事摂取量においても摂取量の記録がない。		摂取量の記録を行い、日々どの程度食しているか把握することが必要と思われる。チェックシートに摂取量を記載し、摂取量の少ない利用者には代替品や補食をする等の対応が望まれる。
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症のマニュアルが作成されており、都度、更新・追加が行われている。また、市や県からの通達等を回覧し、周知徹底に努めている。日々の業務においても、手洗いや嗽の励行、台所用品の消毒、インフルエンザの予防接種など、感染症に対して予防策が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
		居心地のよい共用空間づくり			
34	78	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間にはソファとテーブルが設置され、廊下にも椅子が設置されており、利用者が思い思いに過ごせる空間が確保されている。トイレも広々としており、環境整備がなされ臭いも無く清潔感が感じられる。適所にカレンダーや装飾がなされ、光量や室温も適度であり、過ごしやすい環境にある。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込み品も多く、仏壇を置いている部屋も見受けられ、持ち込み品の制限は無い。思い思いに写真を飾るなど、個々の過ごしやすい環境に配慮されている。管理者は持ち込み品の大切さを理解し、入居の際には、家族に対してなるべく本人の使用していたものを持ち込んでもらえるように説明が行われている。		

 は、重点項目。